

演題名 頭部 CTA 検査での脈拍と CT 値について

施設名 もみのき病院

氏名 山中こず恵\*<sup>1</sup>、松木望\*<sup>1</sup>、土居伸匡\*<sup>1</sup>、萩野孝弥\*<sup>1</sup>、北村卓司\*<sup>2</sup>、前田知則\*<sup>2</sup>、  
山本功次\*<sup>1</sup>、水口紀代美\*<sup>1</sup> \*<sup>1</sup>もみのき病院、\*<sup>2</sup>内田脳神経外科

発表者メールアドレス kyamanaka7@gmail.com

#### 目的

頭部 CTA 検査において、脈拍が早い場合 CT 値にどのような影響を及ぼすのか検討する。

#### 方法

頭部 CTA 検査を行う患者に対し、検査前に血圧・脈拍測定を行った。造影剤は、300mgI/kg を用い、テストインジェクションを行った後に CTA を行った。CTA 撮影後に IC (C1) での CT 値を測定した。頭部 CTA37 例の内分けは、年齢 44~84 (平均 66) 歳、体重 45~81 (平均 60.1) kg、血圧 91/41~182/81 (平均 130/40)、脈拍 55~110 (平均 73.9) である。造影剤注入時間は 10~15 秒 (平均 13 秒) である。

#### 結果

脈拍は 60 台が最も多く 16 名、70 台 8 名、80 台 4 名 90 台 4 名、100 台 2 名 50 台 3 名であった。IC (C1) での平均 CT 値は、テスト 101HU、SD24HU、CTA485HU、SD64.7 であった。脈拍が 90 を超える人は少なかったが、脈拍が早くなると CTA での CT 値が平均値より低くなった。平均値より低くはなったが、脈拍 100 台 2 名の CT 値をみても約 380HU と十分な CT 値は得られていた。脈拍とピーク到達時間をみると、脈拍が早くなるにつれピーク到達時間が早くなる傾向がみられた。相関を見ると、脈拍と CTA では -0.29、脈拍とテストでは 0.26 となり強い相関は得られなかった。脈拍とピーク到達時間では -0.44 とやや相関が見られた。

#### 考察

脈拍と CT 値の相関が弱いことより、脈拍は CT 値に直接関係するものではないと考えられる。また、脈拍とピーク到達時間ではやや相関がみられたが、撮影のタイミングを知る上で有用であっても、CT 値に反映されるものではないと考えられる。